



雄飛

校訓

考える人 心豊かな人 たくましい人

霧島市立国分南中学校

学校便り6月1号

令和8年6月19日発行

努力は報われるとは限らない。ただ、努力は裏切らない

校長 平國弘明(ひらくに こうめい)

地区総体が終わり、一週間余りが過ぎた。県大会に進めた競技、個人がある一方、残念ながら涙をのんだ選手たちもいた。勝負事は、時に非情であり、無慈悲である。改めて言うまでもないが、勝負事は厳しい。

かつて、指導者として、始良地区中学校総合体育大会ソフト



テニス競技（当時は、始良地区のみ）に臨んだことがある。これまでの地区総体で、劇的な勝利を飾ったこともあるが、悔し涙を流す選手を前に語る機会の方が多かった。地区の新人戦、春季大会と勝っておきながら、この総体で敗れ、県大会出場権を逃した経験もある。K中に敗れた試合は特に印象深く残っている。

当時、ソフトテニス競技では、予選リーグを1位通過すれば、県大会への出場権を得ることができた。その県大会をかけたリーグ全勝同士対決。1番手、接戦の末、落とす。2番手は、大将同士の対戦。終始、優位に試合を進め、対戦成績をタイとする。勝負の3番手。両者は互角の試合を展開、味方ペアの調子も決して悪くはない。第5ゲームのサーブゲームを落とす。ゲームカウント2対3とリードを許し、ベンチにペアが帰ってきた。ここで予期せぬことが起こる。なんと、ペアの一方が涙していた。一瞬、「どうした？」と思い、そのままの思いを伝える。「あのペアには一度も勝ったことがありません。」と返ってきた。ペアはもとより、ベンチにも動揺が走るのが伝わってきた。「大丈夫。」と声を掛けはしたものの、その選手の表情は硬いまだだった。そのまま第6ゲームを落とし、相手の勝利となった。粘り強さが信条の2人であり、これまで、3番勝負やファイナルゲームを何度も勝ち切っていたので、普通の精神状態であれば、勝利できたと考えられる。事実、このペアは地区総体の個人戦を勝ち抜き、県総体でベスト16に入っている。あのとき、指導者として、彼女らの後ろ向きな気持ちを払しょくできなかったことを未だに引きずっている次第である。ただ、彼女らは、高校進学後もテニスを続けた。泣いていた生徒に至っては、大学、その後もソフトテニスを続けているということがせめてもの救いである。

勝負事には相手があり、「努力は報われるとは限らない」こともある。一方で、「努力は裏切らない」とも言える。努力してきたことは、自分を成長させ、自分を含めた誰かの人生を豊かにしたことに間違いはないのだから。目の前の結果をどう受け止めて、その先に生かしていくかが今後問われる。

今回、残念ながら、目標に達することができなかった者は、振り返りをし、今後どうしていくべきかをしっかり考えてもらいたい。押さえておきたいことは、うまくいかなかったことを誰かのせいにしては、選手或いは人としての成長の機会を逃すことになる。また、先に進めたものは、地区代表という誇りを持ち、戦った相手の気持ちも慮りながら、高みを目指し、さらに成長することを期待したい。



宿泊学習・修学旅行・職場体験を終えて

5月には各学年、1年宿泊学習、2年修学旅行、3年職場体験学習を行った。どの行事も計画通りに実施ができ、目的を達成できたということで安堵している。

1年の廊下に、宿泊学習の個々の感想が掲示してある。その中の一部を紹介したい。



「頑張ったことは、登山を最後まで登り切ったことです。」「団体行動がとても楽しかった。」

「カレー作りでは、みんなと協力する大切さを学べて、ミニコンサートは普段では来る事もないので楽しかった。池巡りでは、たくさんの自然に触れ合えて、貴重な体験ができた宿泊学習だった。」

「迷惑をかけることが多かったが、自分の課題が分かった。皆と協力できて良かったと思います。」

「部屋での自由時間で友達と話したり、遊んだり、寝たりするのがすごく楽しかったです。」

普段では味わえない交流や体験がいかに貴重であり、大切であるかが伝わってくる。また、周囲の方々への感謝の言葉も多く見られた。

2年に修学旅行には、本年度、私が帯同した。明るく元気な4組と行程のほとんどを過ごさせてもらった。車内ゲームでは大いに盛り上がり、会話ははずんだ。研修地においては深い学びも得られた。平穏な日々が決して当たり前ではないことやそういう日常をつくっていくのは、私たちであることも理解できたのではないだろうか。ニュースで連日、軍事衝突や紛争が取り上げられている今だからこそ、深く考えたい事柄である。加えて、生徒たちは、多くの方々のおかげにより、修学旅行に参加できたことを改めて理解できたと感じている。



3年職場体験学習。3日間実施。働くことの意義や職業への理解を深めることや望ましい職業観・勤労観を育むことができるよう、計画、実施した。本年度は、47の事業所に生徒を受け入れていただいた。生徒たちは、3日間の仕事や職場の方々に接し、多くの学びを得たと振り返っている。また、生徒たちの態度や活動への向き合い方のすばらしさをわざわざ伝えてくださる事業所もあった。



それぞれの行事において、生徒たちの活動の様子から大きな成果を上げることができたと考えている。一方で、課題も見えてきた。学校生活や学校行事等を通じて、さらに生徒を高めていきたい。

〔令和8年7月の主な行事予定〕

2日(木)一学期末PTA・授業参観 7日(火)全校集会 8日(水)1年LGBTQ講話、かごしまジュニア検定
9日(木)第2回学校運営協議会、PTA総務委員会 10日(金)縄文の森ボランティアガイド事前研修
14日(火)県民の日、生徒集会 17日(金)1学期終業式
18(土)県総体陸上競技(～19)、霧島夏祭り(～19) **20日(月) 海の日**
21日(火)夏季休業(～8/31)、県総体(各競技～24)、水難事故防止強調月間(～8/31)
24日(金)縄文の森ボランティアガイド現地研修 26日(日)ふるさと美化活動(県下全域)
27日(月)霧島しごと維新企業見学会・KIRISHIMA GLOBAL ACTIVITY(～28)
29日(水)縄文の森ボランティアガイド(～31)

※ あくまでも予定ですので、変更等が生じる可能性があることを予め、了解ください。